

地質及河
川

漢城と回
城

交通路

一丈四尺、底の厚さ二丈、周圍半里餘あり。東は茫渺たる沙漠の地、西は三里弱を隔て、天山支脈南に向ひて突出し、西南一里餘の地點に及んで終り、比高數十米突を有す。南は約十七里餘を離隔して一山西北より東南に横り、北は三里弱、天山の麓に到る。又東北方には、天山の支脈更に東方に走るか故に地形は三面諸山の影響を受け、自ら一高臺地を成形し、城は其の臺上最高の地に在りて、東は稍々急なる傾斜直に沙漠に接し、西北は緩降して山麓に連り、南は傾斜緩く延ひて約一里の地點に及び、俄に急傾斜に變して砂礫地に連り、再び漸次上傾斜と爲りて山麓に到る。地質は黄土にて、處々硝及鹹を含有し、數條の河川皆天山麓に發して南流す。就中最大なるは、西方一里餘の邊を流るゝものなりと雖も、其れすら水幅僅々六米突に過ぎず。是等諸川は、何れも徒涉し得べく、兩側には、數多の柳樹を並植せり。城は漢城、回城の二個ありて、漢城は回城の東方數町の處に位置す。人家は回城に多く、漢城に少なし。漢城の南門外及回城の西門外には人家稍々密に臺地は沙地、大部を占めたり。

交通路、東は哈密、西北は烏魯木齊、西南は哈喇沙爾に通ずるものを主要路とし、別